

臨床研究等の情報公開

研究課題名	急性期病棟における看護補助者タスク・シフト／シェア導入と業務量変化の評価
研究機関	青森市民病院 看護局
研究内容	急性期病棟における看護師の業務量増大は、本来業務への集中を妨げ、質の低下や離職意向の増加につながる。看護補助者とのタスク・シフト／シェアは負担軽減策として注目されている。本研究は、看護師が負担と感じる業務を抽出し、タスク・シフト／シェア体制を構築したうえで、タイムスタディによる業務量調査を通じて委譲状況と効果を検証する。
実施期間	研究倫理委員会承認日～令和9年3月31日
対象者	当院に勤務する看護師、准看護師、看護補助者（患者さんは対象としていない）
実施方法	三段階の実践研究として実施する。第1段階では、病棟看護師186名を対象に実態調査を行い、困難業務、委譲希望業務、委譲したい職種を抽出。第2段階では、看護師長・主任看護師によるワーキンググループを設置し、業務範囲の明確化、委譲手順書の整備、看護補助者研修および院内ラダー導入によりタスクシフト体制を構築。第3段階では、看護師215名・看護補助者48名を対象にタイムスタディを実施し、看護業務量と補助業務量を可視化する。さらに看護補助者延べ124名の業務時間を用いてABC分析を行い、主要業務を抽出する。
参加撤回の自由	研究対象者が特定されるような情報は利用せず、公開も行わない。研究への参加・不参加が不利益につながらないことを保証する。
問合せ先	青森市民病院看護局 山崎智子 電話（代表）017-734-2171